

シャカシャカとさくま

アワビ特集号 

静大生が佐久間のアワビについて学び、
ワークショップを開催しました!



佐久間の養殖アワビって?

P2

アワビのワークショップイベント開催!

P3-8

学生制作

「さくまるくとアワビ物語」 P3-7

シャカシャカかあどの作り方 P8

ようしょく

佐久間の養殖アワビって？

佐久間町のアワビ養殖（ようしょく）のプロジェクトは、浜松市からNPOがんばらまいか佐久間への委託（いたく）事業として行われているよ。このプロジェクトは佐久間に新しい産業（さんぎょう）を作りたいという考えからはじまったんだ！

今は旧佐久間給食センターを利用して佐久間の住民の方々や浜松山里いきいき応援隊の方々が安定的なアワビの生産を目指して頑張っているんだ。



354

アワビの貝殻ワークショップ

2022年6月17日に中部天竜駅前の杉の里でアワビの貝殻を使ったワークショップに参加しました。ワークショップでは、七色に光る貝殻と色んなビーズをレジンで固めて綺麗なアクセサリーを作りました！

作り方を教えてくれた浜松山里いきいき応援隊の青島さんは、こうしたワークショップを通して、佐久間の人も外の人も佐久間にアワビがあることを知ってほしいとお話しされていました。



ワークショップイベントを開催！

私たち静岡大学佐久間フィールドワークは、佐久間の子供たちに向けて「アワビの貝殻を使ってシャカシャカかあどを作ろう！」というイベントを開催したよ。イベントの目的は、佐久間の子供たちと仲良くなりながらもっとアワビのことを知ってもらったことだったんだけど、なんと5人も子供たちが参加してくれたんだ！イベントではさくまる君が主人公の朗読劇で佐久間のアワビの歴史を伝えたり、一緒にシャカシャカかあどを作ったんだ！

場所 ▼ 佐久間歴史と民話の郷会館 会議室
日時 ▼ 2022年11月6日(日) 13:00-15:30



さくまるくんのアワビ物語



れる味 → しんさて覚きし気
 なかしこたにくもえたたに
 いらくの。間ま正がさがな
 ね何て貝 いる体あく、っ
 か綺は て君をりま佐て
 に麗ア みは知まる久手
 使なワ る近りせ君間に
 え殻ビ こくたんにか取
 るをだ とのく。はらっ
 かもよ に漁など全やて
 もっ。 し師っうくっみ
 して美 まさたし見てま

「まに大たく佐ては
 なしきき。ま久みい →
 なたらな海る間よついい
 だ。き貝の君のうもいい
 だろう。らの中は川かと天
 う。とよで海でかな？違気
 ・飛う遊へそ？うだ
 ・びなん出う場所。な
 ・込もでか考えに。今
 「でがるまた行っ
 き瞳としさ っ日



さくまるくんは感動しました。
「どうにかして故郷の佐久間に持
つていけないかな……！」



こうしてさくまる君のアワビ作
りが始まりました。育てられそう
な場所は給食センター。この場所
をアワビが伸び伸び育てさせる養殖
場にしよう。アワビを育てる水槽を
用意しないか！
さくまる君はアワビたちのため水
槽を運んで、中には食塩とお水を
入れます。そしてアワビが過ごし
やすい温度を保つためにエアコン

を取り付けました。これでアワ
ビたちは佐久間の暑い夏にも耐
えることができます。最後に給
食センターを修理して立派な養
殖場が完成しました。
「よし！これで水槽は完璧。あ
とはアワビを用意するだけ……つて
アワビはどこから連れてきたら
いいんだ！？……悩んでいたっ
て仕方ない！ここは探すしかな
い！」

さくまる君は養殖場で育てる
アワビを見つけるために日本
中のアワビ業者を訪ねました。
しかしアワビの稚貝を売ってく
れる業者はなかなか見つかりま
せん。
さくまる君がアワビの稚貝を探
し始めてしばらく経ち、やっと
アワビを売ってくれる業者さん
にたどり着くことができまし
た。そこはなんと岩手県。



その後さくまる君は長い月日
をかいてサイズは少し小さいで
すが、アワビを育て上げること
が出来ましたのでした。

アワビが育ったことを知った
佐久間のお母さんたちは、さく
まる君にアワビのうまみたっぷ
りのおいしいうまみを作
つてくれました。アワビカレシ
ーを作
るのもぐもぐ、ごっくん。

どうしたらこんなにおいしいア
ワビや綺麗な貝殻をみんなに知
つてもらえるのかな？」
さくまる君は、アワビの貝殻を
さくまる君は、アワビの貝殻を
手に持って太陽にかざしてみた
り、砕いてみたり、細かく砕い
たり、砕いてみたり、細かく砕い
た貝殻を小箱に入れて振ると
「シャカシャカ」と心地よい
音が聞こえました。

「この貝殻の特徴を利用してみん
なから愛されるような素敵なも
のを作ったかも知ってもらえるか
もしれない！」

さくまる君はふと思いついて、手
に持っている貝殻が入った小箱の
中に入れて川の中ですてた。次
にお母さん

たちから折り紙をもらってきて、
小箱の底に敷き詰めました。綺
麗なテープでおしゃれにデコレ
ションをしてみました。最後に透
明な板で蓋をすれば、キラキラ
と光る出来上がりです。



最初は佐久間にアワビをもつてくる！というさくまる君の目標が、今では、佐久間のアワビをたくさんの人に知ってもらったことに変わっていったのでした。

「まず佐久間のみんなにアワビのことを知ってもらいたい！」さくまる君は、アワビの貝殻を

使って新しくシャカシャカかあどを作ろうと、佐久間のみんなを呼び集めました。



参加してくれたみんなが作ってくれた、シャカシャカかあどだよ！自分の好きなキャラクターやこだわりの色使いで素敵なかあどを作ってくれたんだ！！



アワビのシャカシャカがあと作り方



はじめに

ダンボール2枚に穴を切り抜いて1.5mm幅の枠状にする
カッターナイフを使うので大人のひとが行ってください

1. 作ったダンボールの枠同士をくっつける
2. 穴の側面すべてに太いマスキングテープを貼る
内壁の装飾の役割と、隙間を埋めてビーズを逃さないようにします
3. 好きな紙に絵を描いたり飾りつけをしよう
1で作った枠の厚さを超えないよう装飾します。
枠に収まるよう重ねてみて位置に注意してください
4. 3で作った絵を残っているダンボールに貼り合わせる
5. 両面テープで4に1の枠を貼り付ける
6. 砕いたアワビと飾りを5に入れる
7. 6の枠部分に両面テープを貼りプラ板をつける
8. 7の側面すべてに太いマスキングテープを貼る
9. 8の裏面に好きな紙を貼る
10. 表面に1.5mmマスキングテープを貼って飾る

これで完成!

○用意するもの

- ・ A6サイズに切ったダンボール3枚
- ・ A6サイズに切ったプラ板
- ・ A6サイズの好きな紙2枚
- ・ 1.5mmマスキングテープ
- ・ 太いマスキングテープ
- ・ 砕いたアワビ
- ・ ビーズなど飾り

○使う道具

- ・ カッターナイフ
- ・ ハサミ
- ・ スティックのり
- ・ 両面テープ



イベント参加して下さった皆様、またイベント開催にあたり
ご協力いただいた佐久間の皆様、本当にありがとうございました。
今回のイベントを通して参加して下さった方々と、佐久間での生活
のことや自分の好きなものなど色んなお話しができたのが本当にうれ
しかったです。参加して下さった皆さんにとっても少しでも今回の
イベントが楽しく記憶に残った思い出になれば幸いです。
改めまして、皆様本当にありがとうございました。

ワークショップの様子やこれまでの活動は
佐久間フィールドInstagramからご覧いただけます

サクッとさくまアワビ特集号 編集メンバー

3年：竹田有那

2年：眞野瑤子

1年：大木琴寧・金城奈津希・佐藤萌

静岡大学地域創造学環佐久間フィールドワーク

お問い合わせはこちら! ⇒

